

県西地区発表内容

P T A発表①

テーマ 「交通安全に関する取り組み」

発表 大井高等学校 P T A

神奈川県立大井高等学校
P T A 総務委員会

交通安全に関する取り組み

本年も新型コロナウイルス感染症が未だ終息しない中、大井高校 P T A は、細心の注意を払って、生徒の安全を確保するため、「自転車点検」「下校調査」を行った。

自転車点検では、タイヤに空気が入っていなかったり、タイヤ・ブレーキの摩耗、ねじのゆるみが気になった。毎日のように使う生徒が多いため、適度に点検をしていく必要があると感じた。

また、下校調査では、社会問題になっている「歩きスマホ」「ながら操作」を行う生徒を目の当たりにした。片手でスマホを持ち、画面に集中することで、周囲の危険に対して無防備になる。自分自身のことだけでなく、相手の気持ちを思いやるのが大切である。

P T A として、子を持つ親として交通安全について、強く伝え続けていくことが大切だと感じた。

自転車点検 (令和4年5月9日実施)

1 自転車の利用状況

生徒数	295名
自転車登録台数	159台
自転車点検台数	57台

自転車通学者率



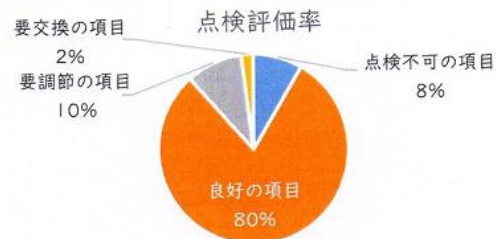
自転車点検率



点検当日の午後は、雨予報のため、自転車で通学してくる生徒が少なかった。

2 15項目の点検状態の合算数値 (57台分)

点検不可の項目	66件
良好の項目	630件
要調節の項目	76件
要交換の項目	16件



3 実施してみて…

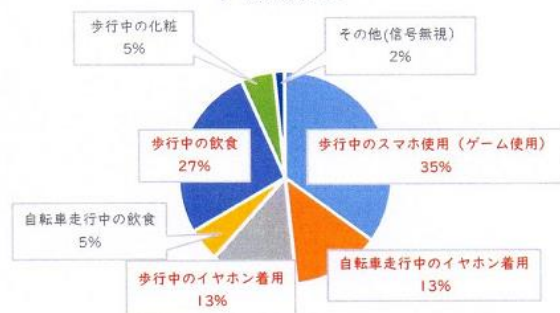
きちんと整備されている自転車が少なかった。また、自転車に学校のシールが貼られていない自転車も多かった。

下校調査 (令和4年6月27日実施)

栢山側土手・開成側土手・ファミリーマート前の3か所で実施した。その結果、歩行中のスマホ使用が35%、歩行中の飲食27%がトップ2となった。

歩行中・走行中のスマホ使用&イヤホン着用は、大変危険。また、歩行中の飲食については、調査当日は気温が高くアイスクリームを食べている人が大半だった。お腹が空くことは分かるが、安全に要注意し、自ら挨拶をしてほしい。

下校調査



県西地区発表内容

P T A発表②

テーマ 「城北工業高校 P T Aの交通安全に関する取り組み」

発表 小田原城北工業高等学校 P T A

令和4年10月28日
神奈川県立小田原城北工業高等学校 P T A
生活指導委員会

城北工業高校 P T Aの交通安全に関する取り組み

神奈川県警から毎月学校に送られてくる「自転車指導警告を受けた生徒児童数」というデータを拝見する機会がありました。小田原地区では「無灯火」「二人乗り」「並進」「携帯使用」「イヤホン使用」という事例が数多く警告の対象となっていました。

小田原城北工業高等学校 P T Aでは例年、歩きスマホや自転車乗車中のイヤホン装着者などの人数を確認し、改善するよう呼びかけを行う下校調査に取り組んでいます。6月の調査結果でも、同様の場面を目撃することが数多くありました。

子供たちに、いま一度交通安全についてのマナーやルール意識をたかめてもらえるようなプリントを作成して配布したいと企画中です。

本校の交通安全関連行事（例年の活動）

4月	自転車保険加入指導・自転車登録
6月	交通安全推進委員会・第1回下校調査
9月	第2回下校調査（台風で中止）
12月	スケアード・ストレイトを視察



登校風景と駐輪場

下校調査結果

第1回（2022/6 実施）

	歩きスマホ	歩きイヤホン	自転車イヤホン	自転車スマホ	その他
正門	37	18	6	4	0
高校入り口	1	0	7	2	17
栢山駅前	34	23	1	0	0
合計	72	41	14	6	17



第1回結果

- 歩きスマホ
- 歩きイヤホン
- 自転車イヤホン
- 自転車スマホ
- その他

その他（内容内訳）	人数
自転車の右側通行	8
2人乗り	1
自転車並走	8

調査結果より、歩きスマホ・歩きイヤホン・自転車イヤホン いずれも一定数いることがわかりました。調査をしている様子を見てスマホをやめる姿などが多くみられ抑止の意味もあり効果的だと思いました。

県西地区発表内容

PTA発表③

テーマ 「西湘高校の交通安全の取り組みについて」

発表 西湘高等学校PTA

令和4年度

神奈川県立西湘高等学校PTA 厚生委員会

西湘高校の交通安全の取り組みについて

西湘高校は、周辺に急な坂などがなく JR 鴨宮駅から徒歩7分に立地し、全校生徒974名の約7割が県西地区、残り3割の多くが平塚秦野地区から通学、そのうち自宅から最寄り駅までも含めて自転車を使用する生徒は約3割にのびます。

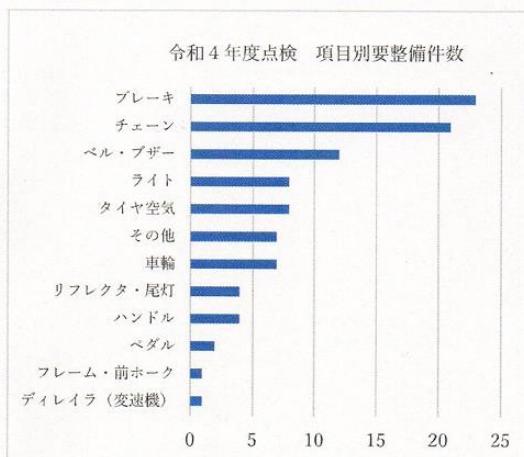
西湘生の登下校時の安全を守るため、毎月3日間の教職員による登校時指導のほか、年1回の厚生委員会による自転車点検が実施されております。以前は毎年点検日の放課後の校内にて、整備不良車の修理も実施されておりました。しかしコロナ禍により一昨年から点検作業のみを実施。その後の修理状況が不明となりましたが、昨年度学校に報告された自転車による交通事故は1件だけとなっています。

今年も新入生を迎えて一か月あまり経った5月25日(木)に、感染症対策・熱中症対策を徹底しながら、神奈川県自転車商協同組合小田原支部にご協力いただき、組合員6名と厚生委員会その他のPTA役員27名で自転車点検を実施しました。

校内駐輪場に停めてある全ての自転車に整備不良箇所の有無を記入した黄色い『安全点検カード』に加え、有事の際に身元確認情報となる西湘ステッカーの無い自転車には『貼付を促すカード』も取り付けました。作業中はベテラン自転車整備士から日頃家庭での自転車の取り扱いについて、また西湘高校での点検作業の歴史を伺い、これまで活動が制限されて集まることの出来なかった西湘生の保護者との交流もでき、大変有意義な機会となりました。

点検結果は、下記の通りになりました。

点検した台数：234台 良好車：148台 整備不良車(タイヤ空気不足含む)：86台



整備不良として多かった内容は、ブレーキの効き具合、チェーン、ベル・ブザーの順でした。タイヤの空気が少ない自転車もありましたが、生徒たちが使用する昇降口に空気入れを常備してあるため、いつでも使用できる状況を整えております。その他の修理の必要な生徒には近日中に修理をするようマチコミのPTAだよりを通してお知らせしました。

また、3年ぶりに保護者限定で開催された9月3日(土)の文化祭では、厚生委員会ブースにて自転車点検の結果を掲示し、改めて修理の徹底をお願いしました。

以上

県西地区発表内容

P T A発表④

テーマ 「吉田島高校 P T A交通安全に関する活動報告」

発表 吉田島高等学校 P T A

令和 4 年 10 月 17 日 (月)
神奈川県立吉田島高等学校 P T A

吉田島高等学校 P T A交通安全に関する活動報告

活動状況について

この 2~3 年はほとんどの活動が中止になり、今年についても前期までの活動で報告できる内容がありませんので、例年の取り組みの報告に代えさせていただきます。

交通安全活動として特別な運動にとらわれることなく、学校行事に併せて、生徒との距離を縮めて活動することで、生徒たちの行動や気持ちが把握できるように心がけている。

交通安全運動では、登下校時の通学路がせまく、危険な個所も多いため、地図上での危険個所チェック、スマホ運転などへの防止に向けた声掛けを実施している。

P T Aでは、交通安全指導も含め、温かい目で見守る姿勢を大切にしている。そのための活動として、次のようなことを行っている。

- ① 挨拶運動・・・挨拶をとおして積極的な声掛けをする。
登下校時の自転車の乗り方や、スマホ、イヤホンなどの利用の注意を促す。
- ② 地域貢献活動・・・生徒とともにゴミ拾いを行いながら下校時の通学状況を確認しながら注意喚起を促す。
- ③ チラシ配り・・・地域が一体となって若者への関心を高める。
- ④ 文化祭・・・P T Aも生徒と同様に模擬店、展示に参加しながら、生徒たちを見守る。

などなど、基本的にいつも生徒に近いところから、登下校時を含め、積極的な声掛けをし、見守ることで交通安全指導につなげている。

今後の活動課題について

相変わらず、危険な登下校の様子が見受けられる。狭い通学路を横に広がりながら歩くことやスマホを操作しながら、傘をさしながら運転することが目立つ。また、自転車の利用状況や安全運転ができていない情報が多く聞かれている。

このような状況を踏まえると、いろいろな交通安全対策を働きかける必要があると考えられる。注意喚起の方法、安全対策・交通マナーをしっかりと守れるような仕組みづくりについて、通学時の登校指導を含め検討していく必要があるかもしれない。

県西地区発表内容

P T A発表⑤

テーマ 「令和4年度足柄高校P T A交通安全に関する報告書」

発表 足柄高等学校P T A

令和4年度足柄高校PTA交通安全に関する報告書

県立足柄高等学校
令和4年10月17日（月）

学校周辺の状況

正門前 写真①

本校の正門前から道路に出るところは見通しが悪く、自転車は特に注意が必要。

注意喚起のための看板やミラーが設置してある。

坂道 写真②

正門前から200m程下り坂になっていて道幅が狭く、生徒が横に並んで登下校すると車の通行の妨げになることがある。

また自転車はスピードが出て危険。

切通し交差点 写真③

坂道を下ったところに変則の交差点があり通勤、通学の時間帯は交通量が多く注意が必要。

PTAの取り組み

6月30日に登下校指導を実施

事故防止の為、本校正門付近での自転車のスピード出しすぎ、飛び出し、徒歩の生徒が道路に広がって歩かないよう声掛け（挨拶も兼ねる）。

今後の課題 写真④

最近生徒の登下校に関して苦情が顕著に増えている。

通学路から少し外れた道（こちらの道の方が僅かに時間を短縮できる）において横に広がって登下校する生徒がおり、車の通行を妨げている。

何度か登校時に先生方が道に立って指導したが改善されず学校だけでは対応しきれない。

そのためPTAも協力して改善するよう検討予定。

写真①



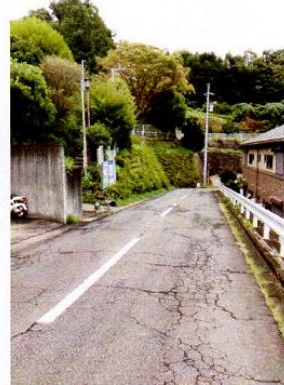
写真②



写真③



写真④



県西地区発表内容

PTA発表⑥

テーマ 「神奈川県立山北高等学校PTA報告書」

発表 山北高等学校PTA

神奈川県立山北高等学校 令和4年度 県西地区交通安全大会 PTA 報告書

令和4年11月9日

★実施された活動

○6月5日(日) 8:30～11:00「酒匂川統一美化キャンペーン」

山北町民と共に保護者20名、生徒会と部活動からボランティア参加した子どもたちが、「酒匂川統一美化キャンペーン(※河川の清掃ではなく、山北高校周辺の住宅街や東山北駅付近を中心としたゴミ拾い等)」に参加した際、カーブミラーの清掃や点検を行った。徒歩で巡回することにより、道幅に対して交通量が多いエリアや見通しが悪い曲がり角の危険性を認識し、河川増水時に通行を回避すべき箇所にも気付くことができた。山北町との連携を深め、子どもたちの環境美化意識を高めると共に、安全や防災に関する家庭教育を充実させる多くのヒントを得る活動となった。

○6月6日(月) 7:45～9:00「(登校指導協力)交通安全指導」

保護者14名が朝の登校時間前に学校に集合し、登校時の交通安全指導を実施した。保護者が、学校周辺のT字路や横断歩道に立ち、雨天時登校の様子を見守ることにより、悪天候により生じる歩行者に対する危険性を認識した。今回の活動を通して気付いたことをPTA運営委員会等で話題にし、教員との情報共有を深めることにより、安全な通学を支援していきたい。

また、朝の挨拶や通学時の注意を促す声掛けを通して、子どもたちとコミュニケーションを図ることができた。保護者と教員の協働による安全指導や見守り活動の積み重ねが、子どもたちの学校生活に対する信頼や安心感を高めると考える。

★今後、実施予定の活動

○3学期中

2学期に実施される業者による自転車点検の報告内容について、PTA運営委員会等で情報共有し、安全な自転車の乗り方の周知に協力する。

○2月1日(火)

マラソン大会時に教員と共に巡回指導を行い、子どもたちの安全な走行路確保に協力する。

県西地区発表内容

PTA発表⑦

テーマ 「小田原東高等学校PTAの交通安全に関する取り組み」

発表 小田原東高等学校PTA

2022年 県西地区交通安全大会 資料

小田原東高等学校PTA生活委員会

小田原東高等学校PTAの交通安全に関する取り組み

例年行っている生徒の通学方法実地調査から、約3分の1の生徒が自転車を利用し学校まで自転車で通学しています。また、学校前には信号機があり、国道沿いに面していることもあり、自転車通学者の交通マナーや自転車整備が課題として挙げられています。こうした、自転車通学者の現状を踏まえ小田原東高等学校では、例年、春と秋、年に2回自転車点検を実施しています。今年度の秋の点検の結果を以下に示します。

実施方法は、PTA役員と業者に来校していただき、自転車置き場に駐輪してある自転車を対象に点検しています。その結果を見ると、要整備件数はチェーンが一番多く、その次にベル・ブレーキと続きます。チェーン、ブレーキともに自転車を稼働させるための部品になります。大きな事故につながりかねませんので、点検票を生徒へ配布し、注意喚起と自転車整備を呼びかけています。

学校前の信号
国道沿いで交通量が多く非常に危険！



【自転車点検】(2022.9.22 実施)

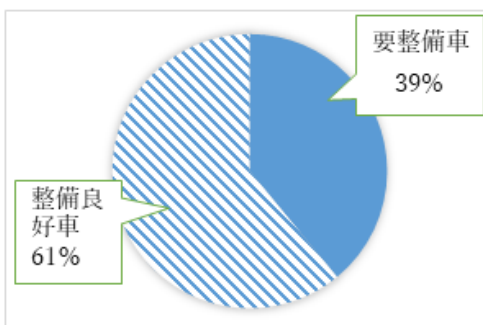
1. 自転車の利用状況

生徒数 569人
徒歩・自転車利用 237人

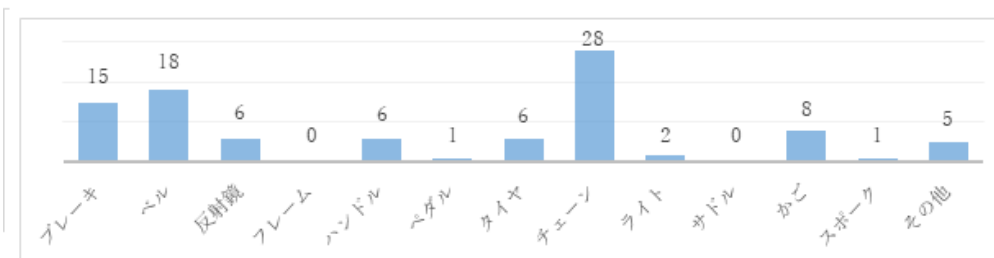
2. 点検台数 187台

整備良好車 114台
要整備車 73台

約半数の自転車が軽度の整備不良を含め、改善が必要だということが明らかになりました。



3. 自転車点検結果



県西地区発表内容

PTA発表⑧

テーマ 「小田原高校の交通安全に関する取り組みについて」

発表 小田原高等学校PTA

令和4年度
神奈川県立小田原高等学校
PTA 安全対策委員会

小田原高校の交通安全の取り組みについて

安全対策委員会はPTA常置委員会の一つで、生徒が安全・安心して学校生活を送れるよう支援しています。交通安全に関連した活動としては、交通事故にあってしまった時に対応するための情報が書かれたセーフティーカードと呼ばれるものを全生徒に配布しています。

◎セーフティーカードとは？

小田原高校では自転車による登校が認められていません。そのため、生徒のほとんどが小田原駅を利用しています。駅から学校までの間に、交通量が多い道、道幅が狭い通学路を登下校時に大勢の生徒が歩くため、いつ事故が起きてもおかしくない状況となっています。

万が一事故にあってしまった場合でも、カードに事故にあった際の手順が具体的に7項目挙げられており、相手の氏名や車のナンバーなど後々必要となる情報を書き込めるようになっています。このセーフティーカードは通学時だけでなく、日常生活においても事故に遭遇した際に活用できるよう、定期入れや財布などに入れて携行するよう指導されています。併せて配付するお便りには「自転車点検・整備時のチェック項目」のほか、自転車損害賠償責任保険への加入義務についても記載しています。小田原高校では自転車損害賠償責任についてPTA賠償責任保険に全生徒が加入しています。



二つに折ると55×86mm大と携行しやすい大きさ



《事故対策の手順》	《相手の記録》
① 相手の車のナンバーをメモする	氏 名 _____
② 相手の名前・連絡先等を書いてもらう（相手の記録）	住 所 _____
③ 警察を呼ぶ（どこからかけても110番）	電 話 _____
④ ケガの状況によって救急車を呼ぶ（119番）	携 帯 電 話 _____
⑤ 大丈夫と思っても必ず病院で診察（レントゲン等）を受ける	車のナンバー _____
⑥ 保護者および学校に連絡をする	免許証の番号 _____
⑦ 事故の状況をメモする（可能なとき）	

◎歩きながらのスマホ操作は危険

小田高は通称百段坂と呼ばれる長い階段を上った先に学校があります。息を切らせながら上がる長い階段で周囲への注意も散漫になりがちです。歩きながらのスマートフォン操作やイヤホンを装着して歩行する生徒も見受けられます。安全対策委員会では通学路で注意が必要な場所がないか点検をし、小田高生が安全に登下校できるように支援しています。